

令和 8 年 10 月 28 日

新規／

高校生防災士と学ぶ防災学習（栗田中学校）

～同世代の視点から「自分たちにできる防災」を考える～

中学生が災害時の役割を考える、世代を越えた実践型防災学習の取組

栗田中学校では、このたび、隣接する京都府立海洋高等学校の高校生防災士を講師に迎え、防災学習を行います。10月29日（木）には栗田学院の避難訓練（地震・津波）を行う予定をしており、中学生は幼稚園児や小学生と一緒に避難する訓練を通して、共に生き抜くことを学びます。

実際の訓練の学びをつながげながら、今回の学習を通して、自分の命を守ることはもちろんのこと、周りにも目を向けながら、今中学生が災害時に地域の一員として果たせる役割を考えることにもつなげていく予定です。

日 時

令和8年11月6日（金）10：40～11：30

場 所

宮津市立栗田中学校 2年生教室：〒626-0074 京都府宮津市字上司1525

内 容

・参加生徒等（2年生 19名）

講 師

・垣尾 奏笑 様（京都府立海洋高等学校2年生）

【担当者のコメント】

保健体育科の教員と高校生防災士と一緒に中学生に授業を行う今回の取組は、年齢の近い高校生の言葉を通して、防災を「自分ごと」として捉えることを目指すものです。

授業では、高校生防災士と中学生が災害時の課題や地域での行動について意見を交わし、「自分たちにできる防災」を具体的に考えます。

災害時、中学生は支援を受けるだけでなく、地域を支える担い手にもなり得ます。高校生と中学生が世代を越えて防災について学び合う姿は、地域防災の担い手育成や、学校間連携の新たな事例として取材いただけたと思います。

お問い合わせ先

宮津市立栗田中学校 教頭 森本 真太郎 TEL：0772-25-0023